

第87回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

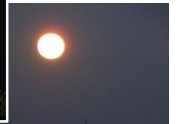
- 1 開催日 2025年 9月25日 13:00～ 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ
- 2 参加人数 ・男性10名・女性2名(投句2名) 計12名
由比浜氏遅れて参加
- 3 今回の季語 九月(長月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)
- 4 選句の結果 *写真をみて一句! を試行してみる。



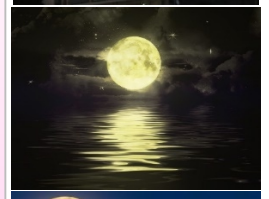
*写真で一句!
兼題: 月



”姫路城に”満月”《姫路市》



甘南備山 中秋の名月



- *満月や波に消されし水面かな
- ・秋茄子を焼き煮る素揚げ日々おいし
- ・つゆ草や空に劣らぬ青さかな
- ・未だ見れぬ空の異常鱗雲
- ・空澄みて垂れる稲穂や時を待つ
- ・颱風下遠き日想い知己集う
- ・窓開けてヒヤット声出る秋の朝
- ・晩夏の夕沈む陽の玉燃ゆる空
- ・いわし雲病院前の停留所
- ・参道は一人ゆく幅萩さかん
- ・暮れゆきて菊酒喫し親父想う
- ・コスモスの奥に見えるは般若寺や
- ・つくつくし鳴きのリズムに歩をあわせ
- ・土手覆ふばかりに葛の勢ひかな
- ・白萩や海を見つめる父母の墓
- *宵月夜かぐや姫待つ雲ジュウタン
- *名月や彼方の夫に供え酒
- *名月や君を照らして細き影
- *けふも無事終えし報告月仰ぐ
- *けざやかに宙に唯一の月鏡

- 5 講評・添削 披講担当: 園田 さん
- 1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ
- ・さるすべり紅花拾いに百日や
「百日紅」 ※漢字で書く”サルスベリ”の文字を
句の中に散りばめた表現
- ・秋風にたなびく雲と満月や
↳ ”に”変更することで、”たなびく雲”と
”満月”が切れる。
- **(比喩)上手!
- ・いわし雲病院前の停留所
↳ ”いわし雲”が持つ色んなイメージが”病院前の停留所で佇む人”の
心情を効果的に表すことに使われている。
- 2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり! + 季語色々!
- ・虫の声寺に染み込む星月夜
季語重なり
- 3) 意味重なり!
- ・居座れる残暑ソロソロ自重して
「残暑」事態が夏が”居座っている”ことを意味していることを意味している。
”居座れる猛暑”の表現に変更しては如何。

選外句

- ・琵琶テラストンボ円舞曲に子らも舞い
- ・さるすべり紅花拾いに百日や
- ・稲穂群れ頭を垂れる米騒動
- ・雨月待つ暑さ厳しい日差しか
- ・居座れる残暑ソロソロ自重して
- ・叡山か遠くに見えし秋の朝
- ・義母見舞う手合わされて秋日和
- ・虫の声寺に染み込む星月夜
- *月明り雲の隙より縁側へ
- *月明り寝苦しさ増す熱帯夜
- *名月や川・池めぐる見散歩
- *秋風にたなびく雲に満月や
- *名月を撮らんと待つも雲隠れ



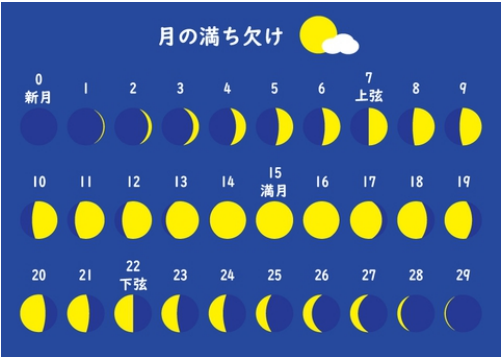
- 6 次回(#88)開催日 2025年 10月23日 13:00～(15:00) 第4木曜日
兼題: 十月(神無月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)
- 写真で一句 : 柿 注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!
- 歳時記を参考に! 注2) ”五七五”の17音(文字)を満足すること!
- 大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

第三十二回目 写真で一句の題材写真

【 月（一般的な） 】



甘南備山 中秋の名月<2024>



		1	4		1			—	1	1		1	選句 人数
--	--	---	---	--	---	--	--	---	---	---	--	---	----------

- 十三 ? ・
- 十二 森本 ・ 月明り寝苦しさ増す熱帯夜
- 十一 榎木 ・ けざやかに宙に唯一の月鏡
- 十 養田 ・ 満月や波に消されし水面かな
- 九 川橋 ・ 名月を撮らんと待つも雲隠れ
- 八 金子 ・ 宵月夜かぐや姫待つ雲ジュウタン
- 七 園田 ・ 秋風にたなびく雲と満月や
- 六 豊村 ・ 名月や川・池めぐる見散歩
- 五 由比浜 ・
- 四 久保 ・ 名月や彼方の夫に供え酒・
- 三 林 ・ けふも無事終えし報告月仰ぐ
- 二 奥 ・ 月明り雲の隙より縁側へ
- 一 鳥越 ・ 名月や君を照らして細き影

[illegible]

第三十三回目 写真で一句の題材写真

【 柿 】



													選句 人数
十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	
<u>?</u>	森本	榎木	養田	川橋	金子	園田	豊村	由比浜	久保	林	奥	鳥越	
・	・	・		・	・	・	・	・	・	・	・	・	

0 名

長月 (9月/September) の句

蓑田

24節季	白露 (7)	秋分(23)
祝日	敬老の日(15).秋分の日(23)	
他	彼岸	防災の日 (1)

★大福を 孫にいただく 敬老日
★防災の アイテム増えて 避難増え



いちご大福

兼 題

- 1.写真で一句 ; 『月』
注) 原則、添付写真を題材に創句する
- 2.長月 /9月の季語全般を詠む

1課題『写真を見て一句 "月"』



『月』

まんげつや なみにけされし みなもかな
満月や 波に消されし 水面かな

川面に写る逆さ月が川浪にかき消されるように見える。

2.法師蟬

9月4日 『ツクツクボウシ』



つくつくし
★**つくつくし**
なきのリズムに
鳴きのリズムに
ほをあわせ
歩をあわせ

朝の気温の変化は感じないが、
9月に入りクマゼミから法師蟬の鳴き声に変わった。
セミたちの活動は気温変化が基準ではないのかな？

3.紫露草 9月18日



つゆ草

つゆくさや
★**つゆ草や空に劣らぬ青さかな**
そらにおとらぬ
空に劣らぬ
あおさかな
青さかな

むらさきつゆ草の花は染物の顔料として
重宝されていたらしいが暑い夏を終わり白露 (7日) を
迎えた頃から雑草の中に涼やかな花を咲かせている。
その色は朝の紺碧の空の色に勝るとも劣らない。

9月度の”俳句 かわせみ会” への投稿

9月兼題：月 による一句

● 名月を 撮らんと待つも 雲隠れ

三脚で準備万端も 雲が微妙に邪魔をし



一般的な9月の季語からの句

● 未だ見れぬ 空の異常 鱗雲

猛暑、真夏日が続く中 秋の訪れまだかな

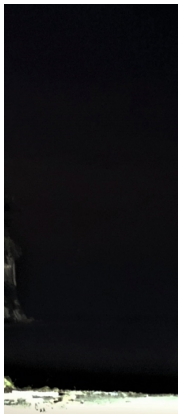
● コスモスの 奥に見えるは 般若寺

コスモス寺と言われる般若寺の光景より



川橋

している



うろこ雲

